



2004年3月期 (第17期) 決算発表

2004.5.20

2004年3月期決算トピックス

業績結果

- ・ 営業利益170億円 過去最高額更新
- ・ 営業利益率11.7% 公開以来最高値更新
- ・ 当期純利益106億円 黒字化・過去最高額更新
- ・ 配当1株当り30円 復配

財務体質

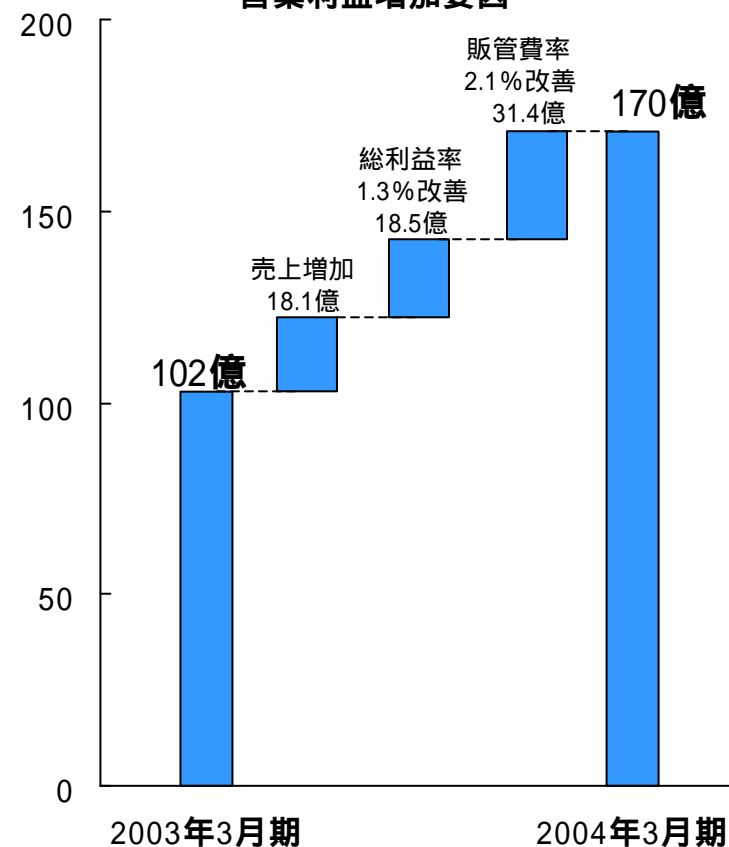
- ・ 有利子負債373億円から52億円へ圧縮
- ・ 純現金資産201億円 純現金資産の黒字化
- ・ 自己資本比率71%へ向上

売上高・営業利益

法人事業の拡大により 収益率向上。

(百万円)	2003年3月期	2004年3月期	前期比
売上高	124,105	145,995	17.6% 増
SHOP 事業 売上	71,519	83,513	
法人 事業 売上	50,674	60,156	
その他 事業 売上	2,105	4,212	
セグメント間 売上	194	1,887	
売上原価	68,821	79,108	114.9%
売上総利益	55,284	66,887	21.0% 増
売上総利益率	44.5%	45.8%	1.3% 改善
販管費	45,015	49,819	10.7% 増
売上販管費率	36.3%	34.1%	2.1% 改善
販売手数料	14,937	16,716	
給料	10,194	11,739	
雑給	2,997	4,031	
地代家賃	2,583	2,480	
営業利益	10,269	17,068	66.2% 増
売上営業利益率	8.3%	11.7%	3.4% 改善
SHOP 事業 営業利益	6,710	8,099	
法人 事業 営業利益	2,502	6,666	
その他 事業 営業利益	30	688	
全社	1,025	1,614	

営業利益増加要因



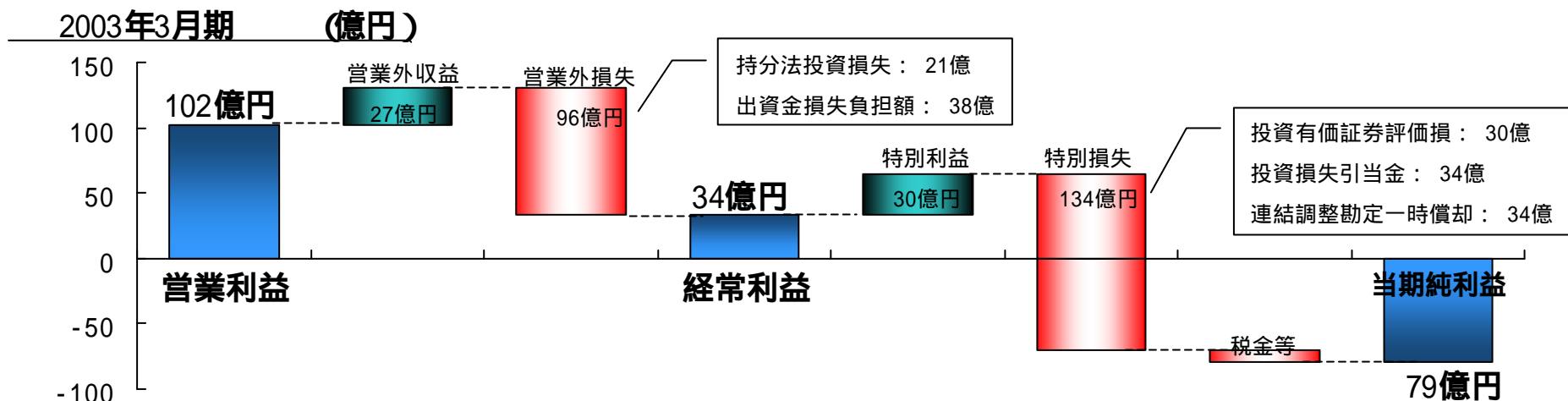
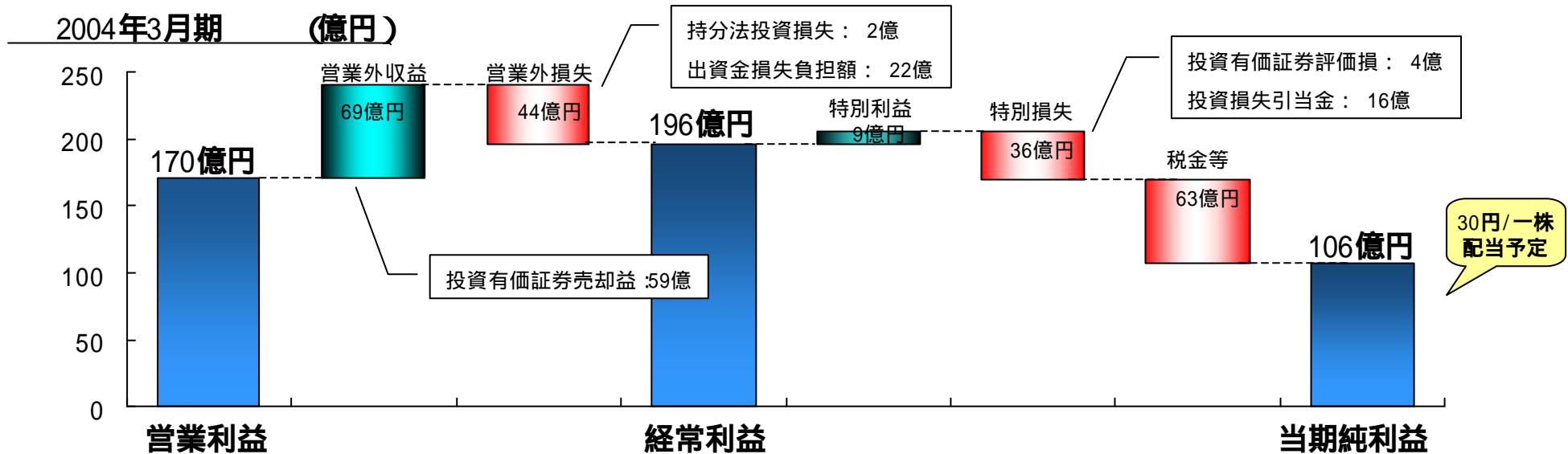
売上増加： 売上増加額 × 前期営業利益率

総利益率改善： 当期総利益 - (当期売上 × 前期総利益率)

販管費率改善： 当期販管費 - (当期売上 × 前期販管費率)

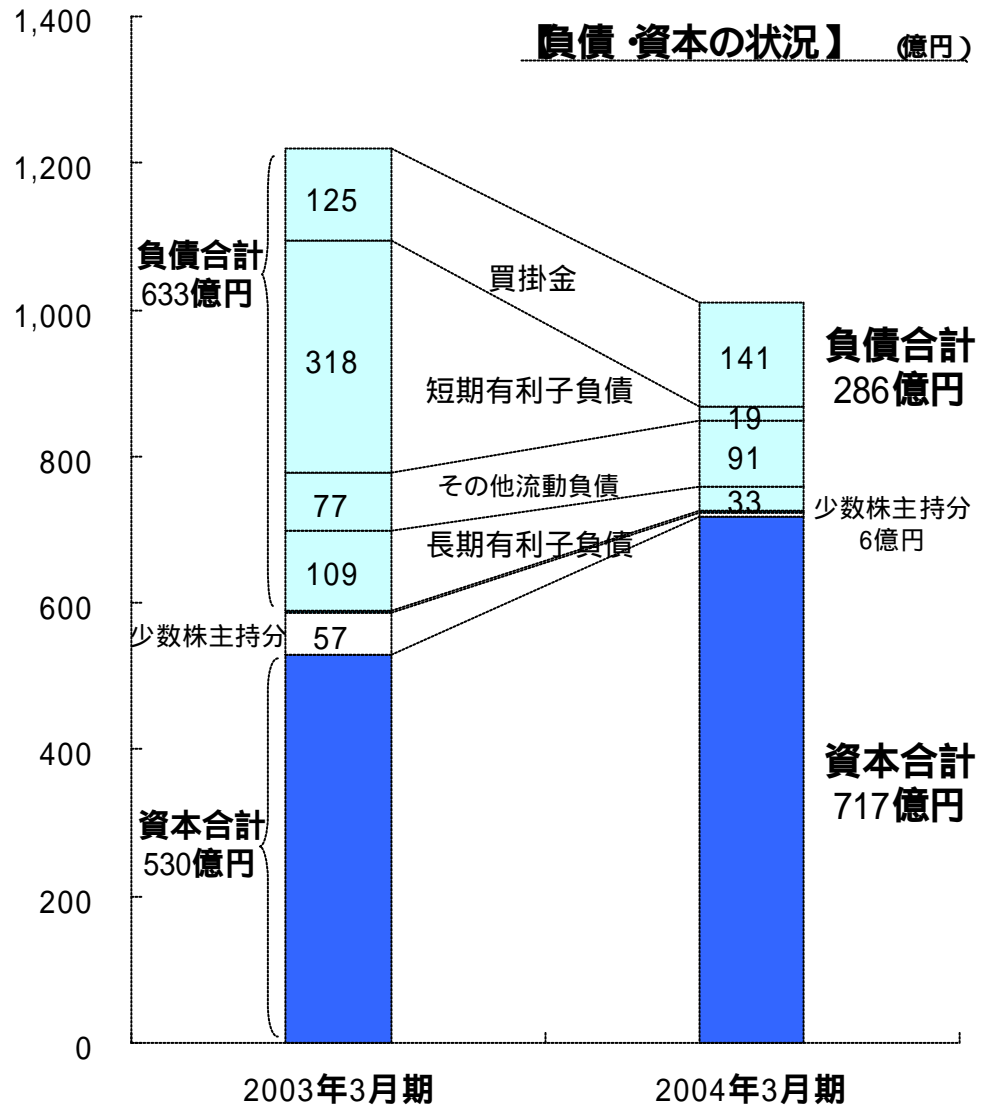
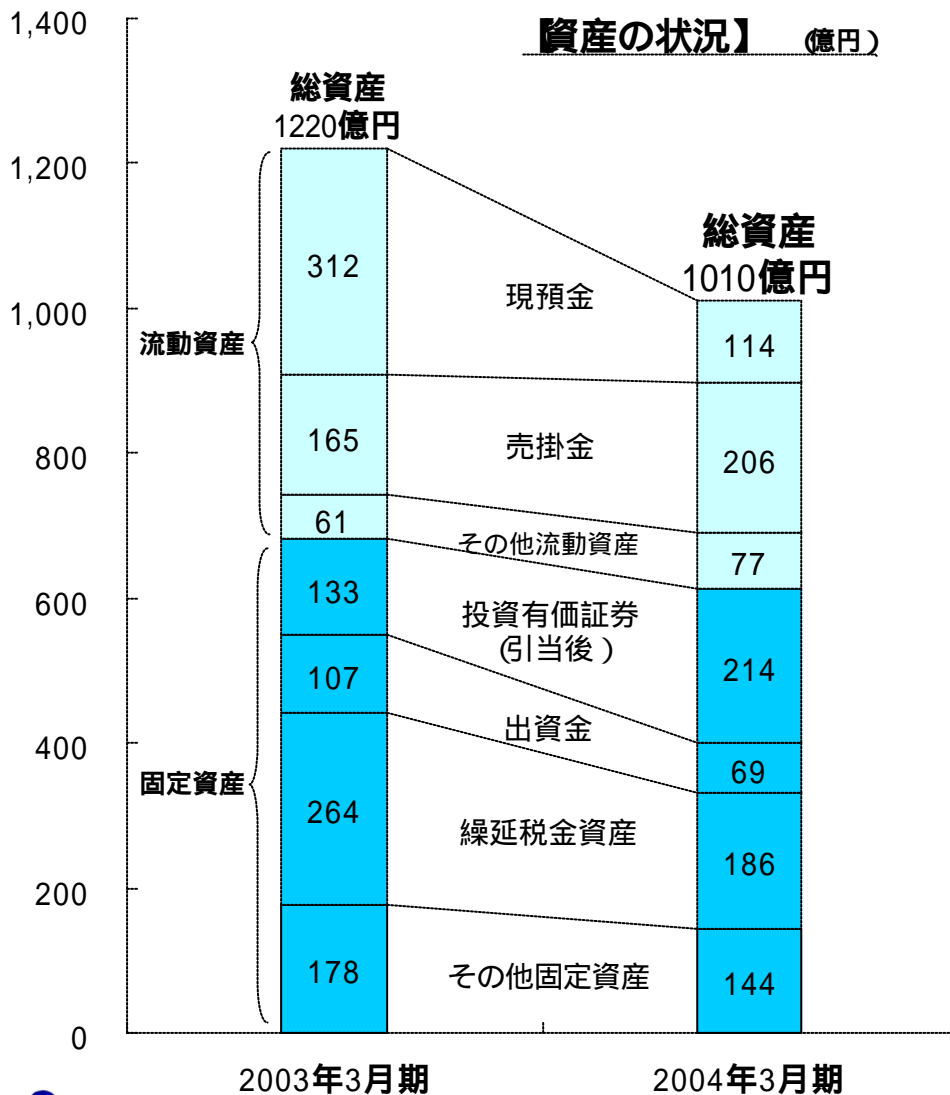
經常利益・当期純利益

当期純利益の黒字化。1株当り配当30円予定。



資産・負債・資本

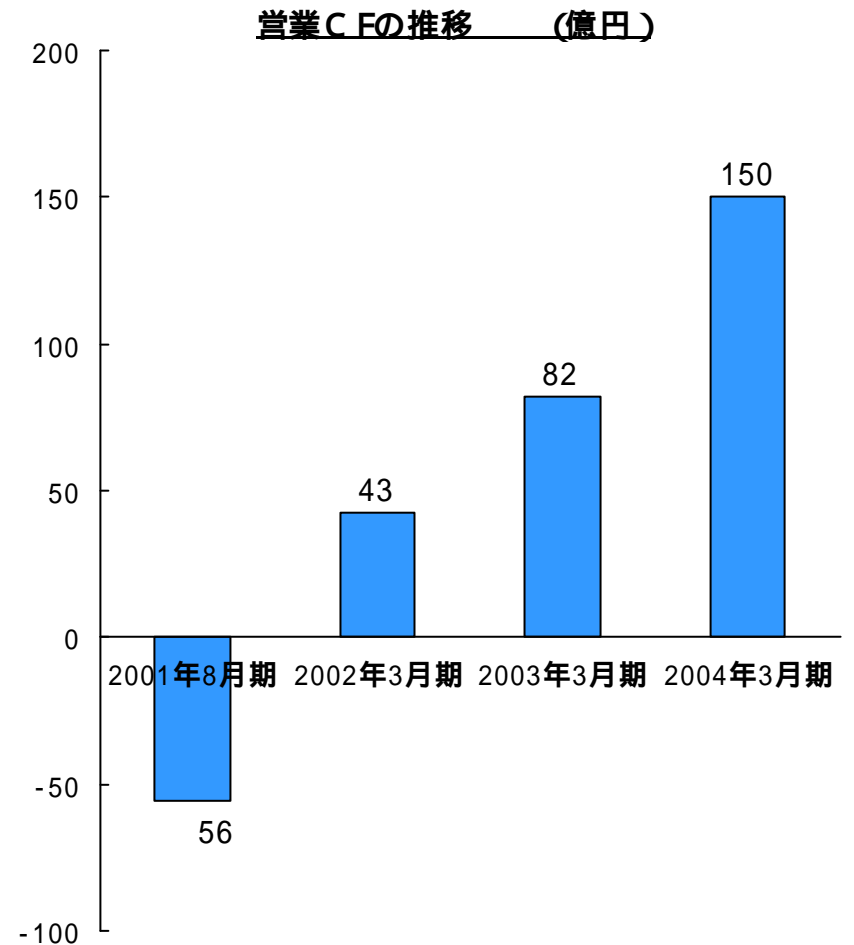
負債圧縮、資本増強。



キャッシュ・フロー

営業キャッシュフローの順調な拡大。

(百万円)	2003年3月期	2004年3月期
営業CF	8,180	15,010
投資CF	5,819	2,115
フリーCF	13,999	17,125
財務CF	39,783	36,555
現金同等物	29,669	10,337



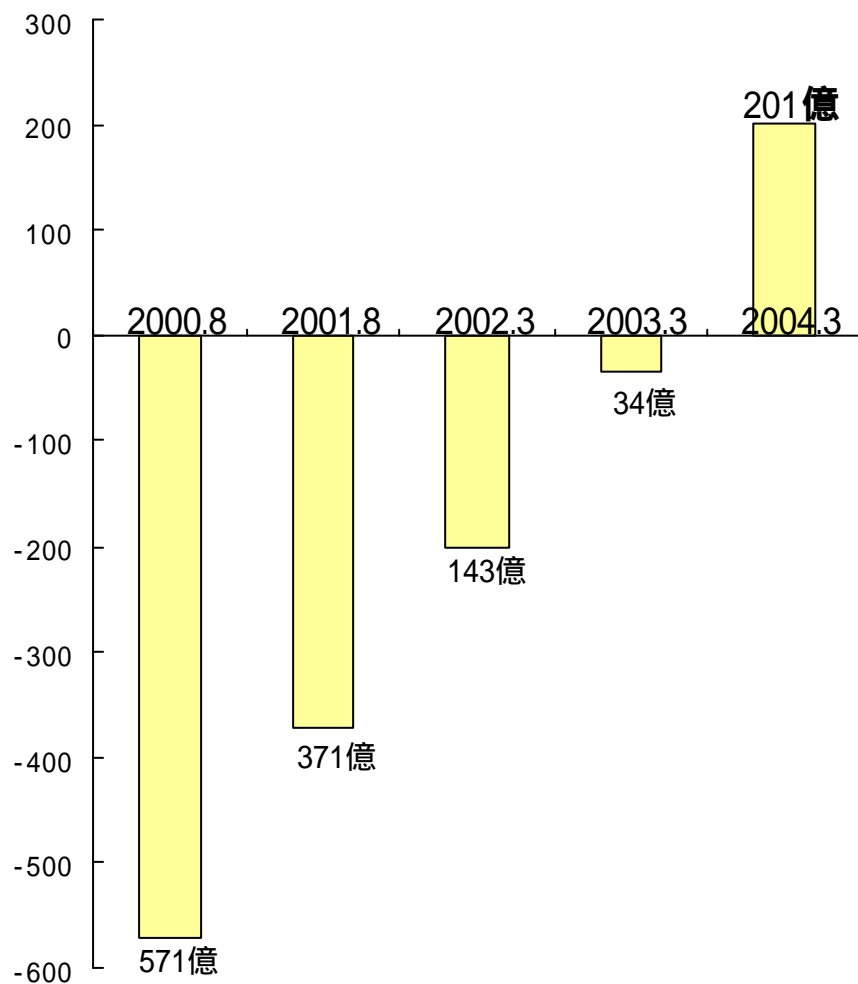
() 2002年3月期は、決算期変更のため7ヶ月間です。

手元流動性・有利子負債

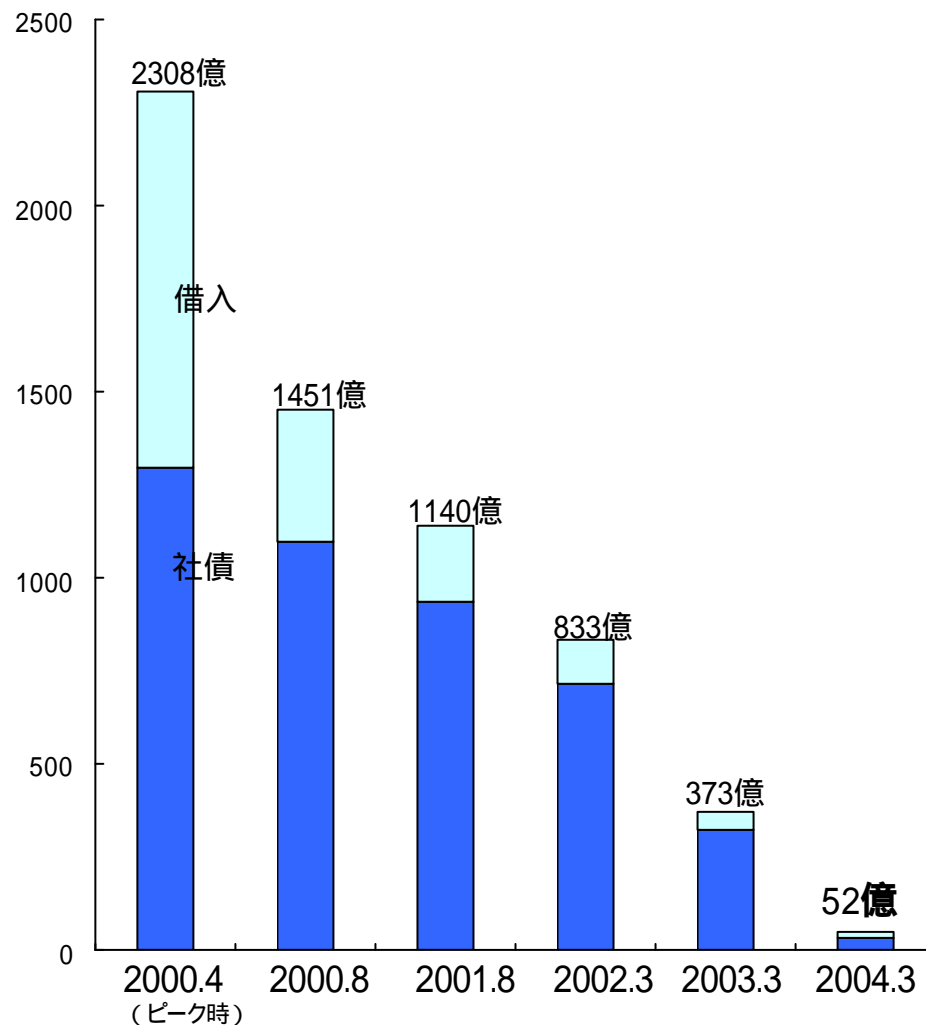
純現金資産は201億円、有利子負債残高は52億円へ。

【純現金資産の推移】 (億円)

純現金資産 = (現預金+上場有価証券時価) - 有利子負債



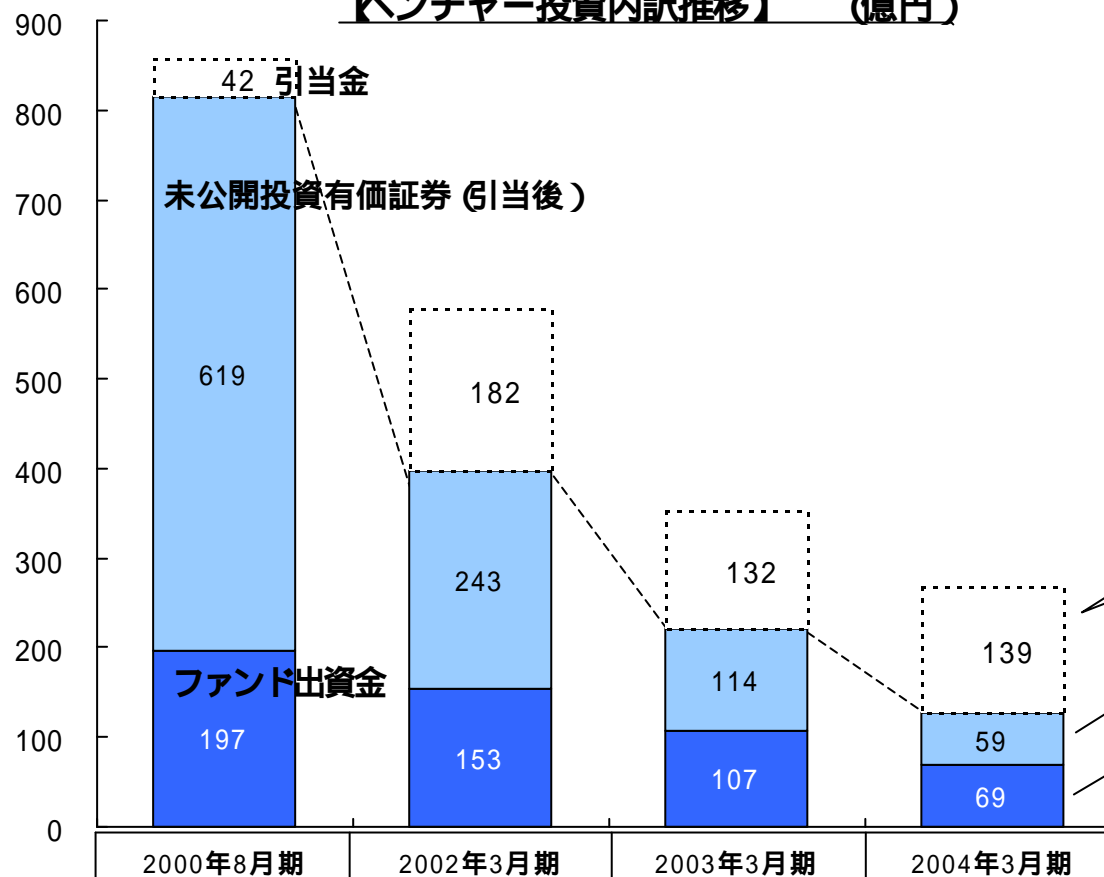
【有利子負債の推移】 (億円)



ベンチャー投資残高

ベンチャー投資の回収進む。残高は128億円へ。

【ベンチャー投資内訳推移】 (億円)



2004年3月期回収実績：
PO実績：国内2社 海外1社
国内銘柄回収額： 68億円 ()
海外銘柄回収額： 20億円 ()
ファンド分配金： 19億円
合計： 107億円

()回収額には、売却、買収、POによる時価額、株式交換による上場株の転換等が含まれます。

未公開：国内17社、海外12社
 ファンド：国内10本、海外4本

ベンチャー投資残高 (引当後)	816億円	396億円	221億円	128億円
-----------------	-------	-------	-------	-------

ベンチャー投資パフォーマンス

累計回収率113%。IPO実績43社。

累計データ 2004年3月末時点

投資総額 938億円

回収額 :1062億円 ()

()未売却のIPO銘柄の04年3月末時価を含む。

回収率 :113%

【IPO実績】

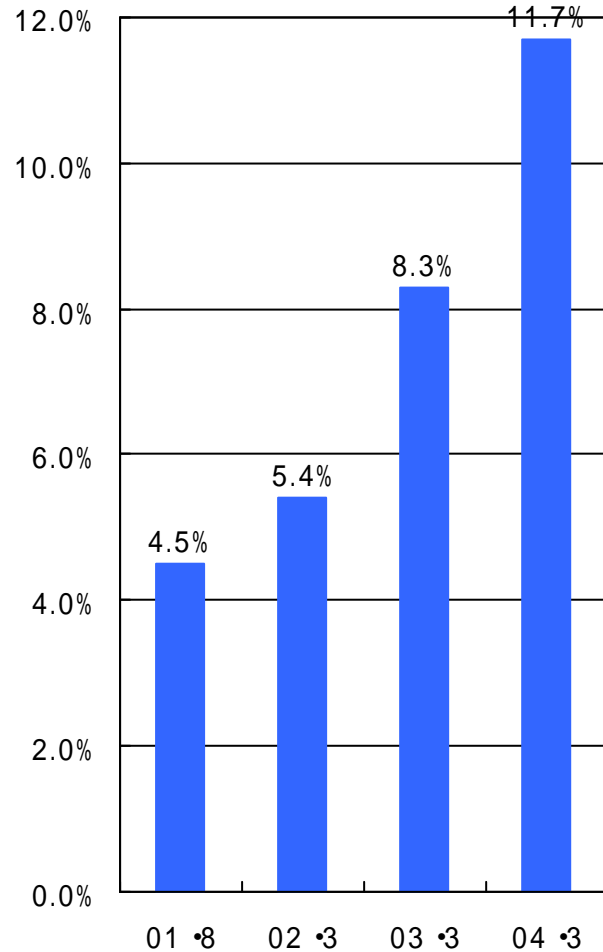
国内	市場
アイ・シー・エフ	マザーズ
イーストアー	ヘラクレス
インテリジェンス	JASDAQ
エッジ	マザーズ
エムティーアイ	JASDAQ
グッドウィル・グループ	JASDAQ
クレイフィッシュ	マザーズ
グローバルメディアオンライン	JASDAQ
サイバーエージェント	マザーズ
スカイパーフェクトコミュニケーションズ	JASDAQ
セブテーニ	JASDAQ
ソーテック	ヘラクレス
ディジットブレン	JASDAQ
デジタルアーツ	ヘラクレス
プライムシステム	ヘラクレス
プラネックスコミュニケーションズ	JASDAQ
フルキャスト	JASDAQ
京王ズ (04年3月期)	マザーズ
ネクサス (04年3月期)	JASDAQ
その他9社	
合計 28社	

海外	市場
Ask Jeeves	NASDAQ
Cash Financial Group	香港
eMachines	NASDAQ
FogDog	NASDAQ
Hyunju Computers	韓国
Paypal Inc. (現eBay)	NASDAQ
Phone.com (現Openwave)	NASDAQ
Register.com	NASDAQ
Signalsoft	NASDAQ
Sing Pao Media	香港
SOHU.com	NASDAQ
Tumbleweed Communications	NASDAQ
Vicinity	NASDAQ
WebEX Communications	NASDAQ
Sigmatel (04年3月期)	NASDAQ
合計 15社	

Sirif Technologies: 04/4/22 IPO

主な経営指標

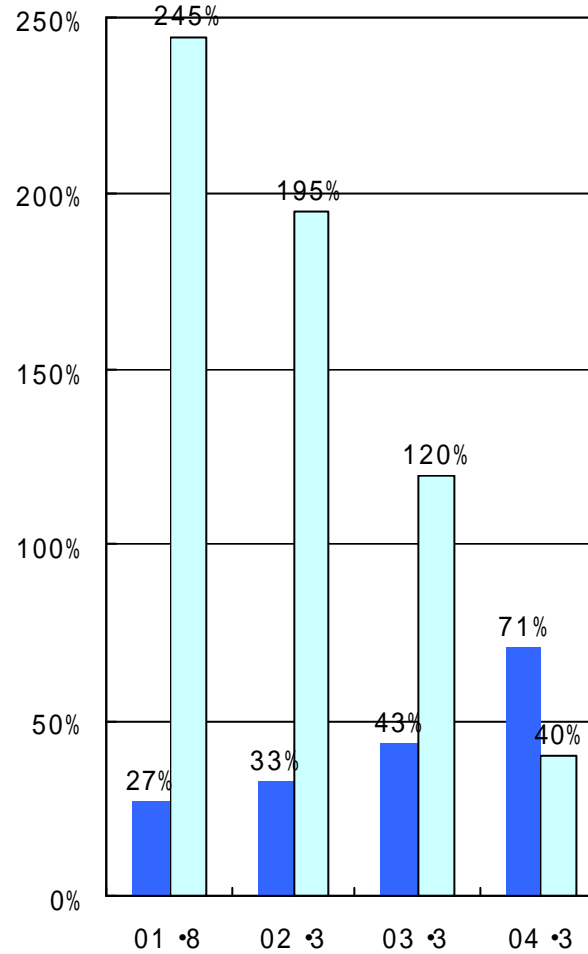
営業利益率



営業利益率の大幅改善。

自己資本比率

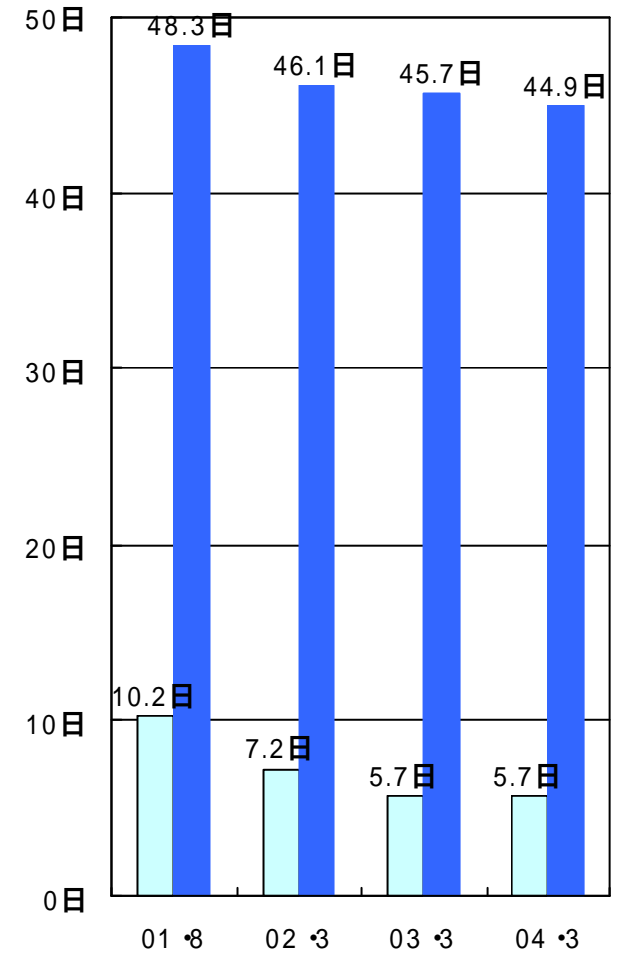
負債比率



有利子負債削減により
自己資本比率 > 負債比率。

債権回転期間

在庫回転期間



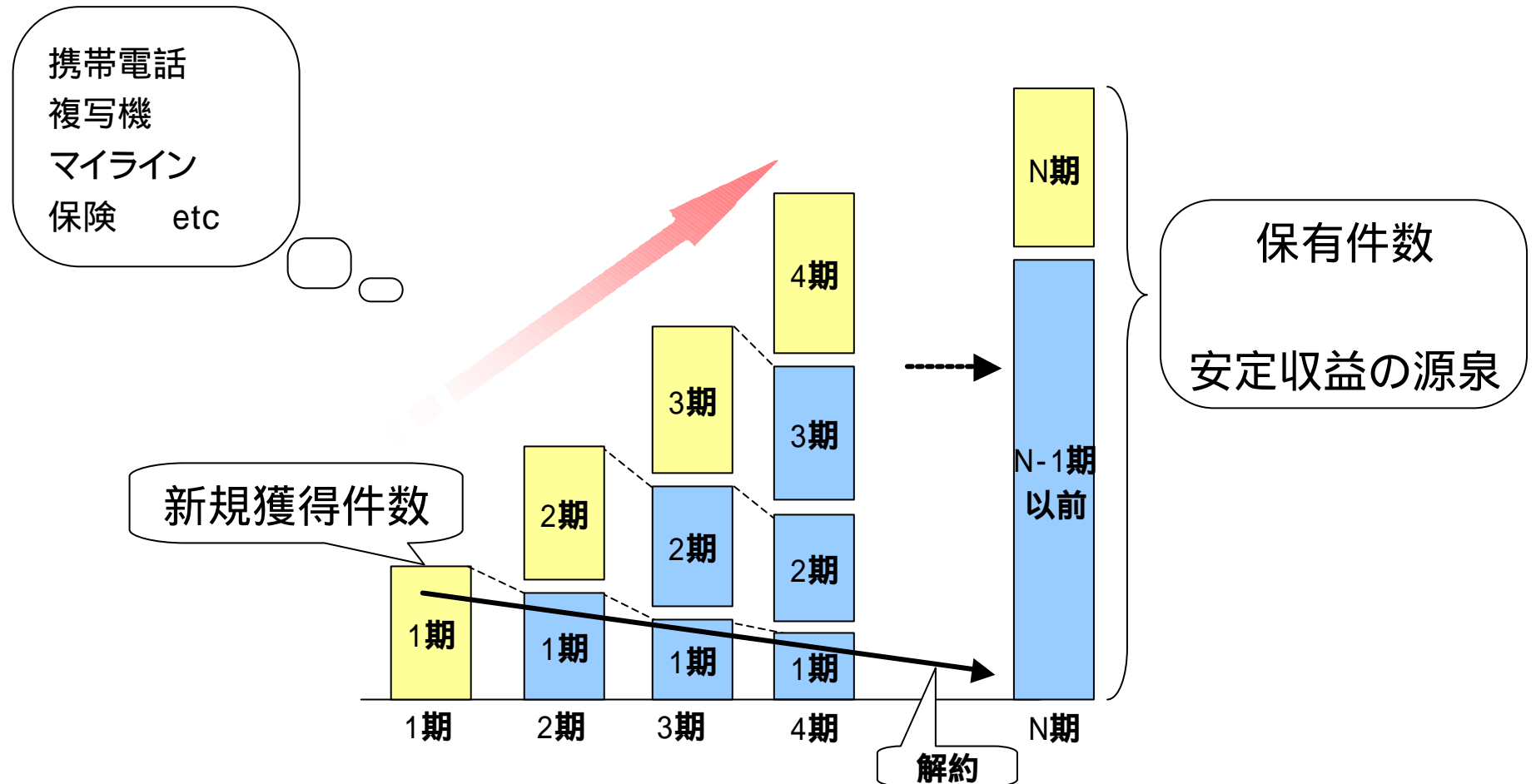
在庫リスク・回収リスクは
低水準で安定。



事業の状況と計画

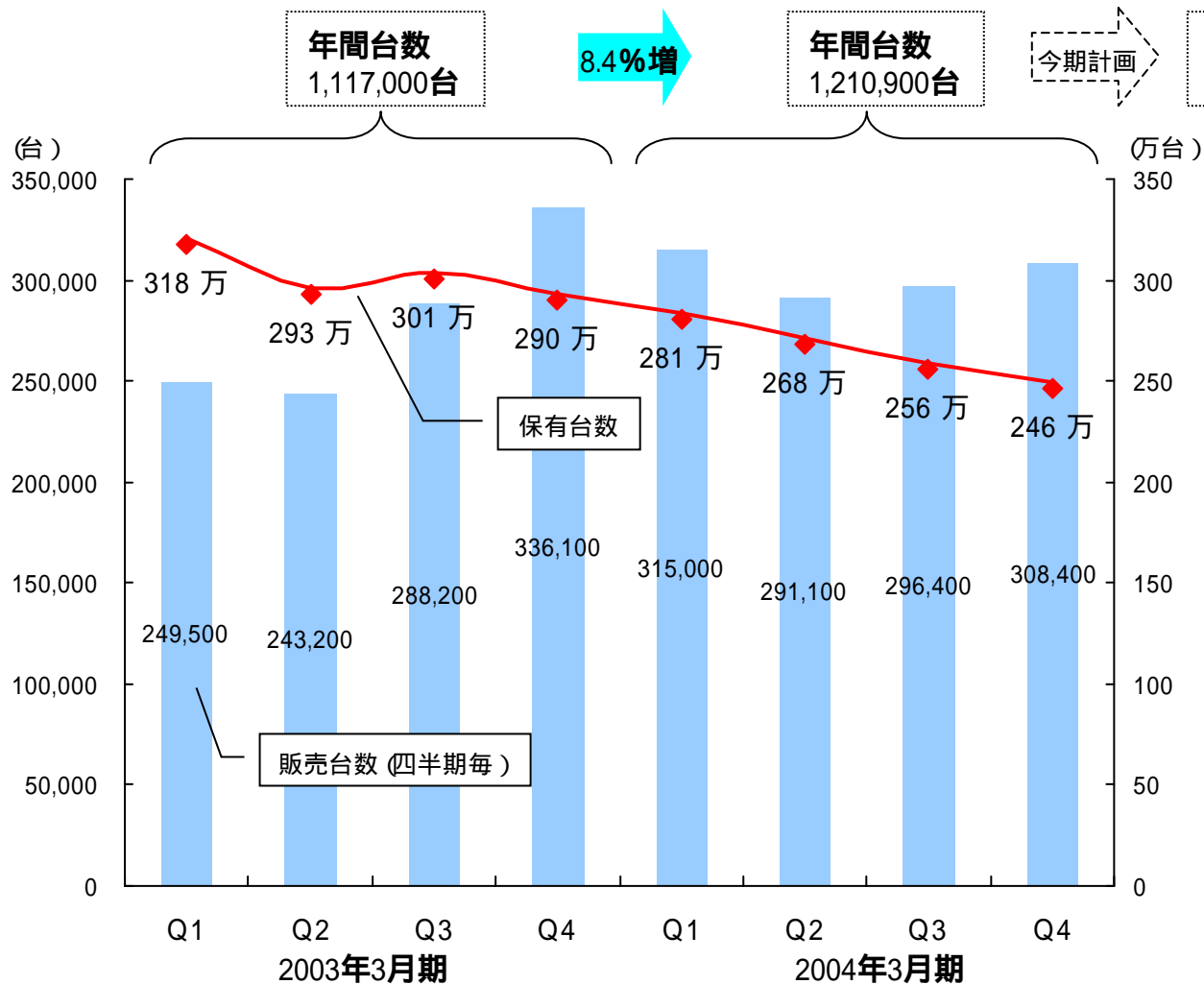
基本ビジネスモデル

ストック型ビジネスを中核事業とし、安定的かつ長期的な成長を目指します。



SHOP事業：販売状況

【携帯電話販売台数 四半期毎の推移】



販売実績は前期比8.4%増。

保有台数の純減続く

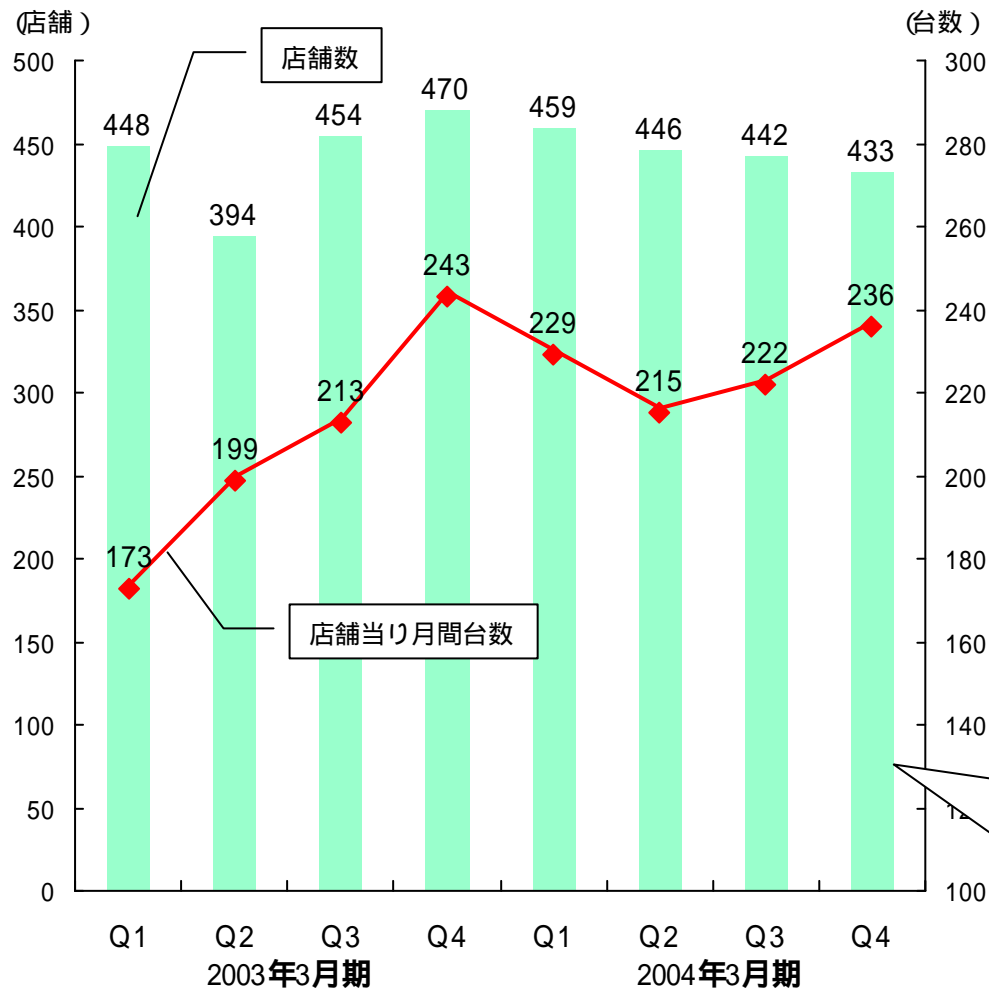
課題 新規獲得の増加

解約率の抑制

2005年3月期計画 :120万台

SHOP事業：店舗状況

【店舗当り月間台数 & 店舗数】

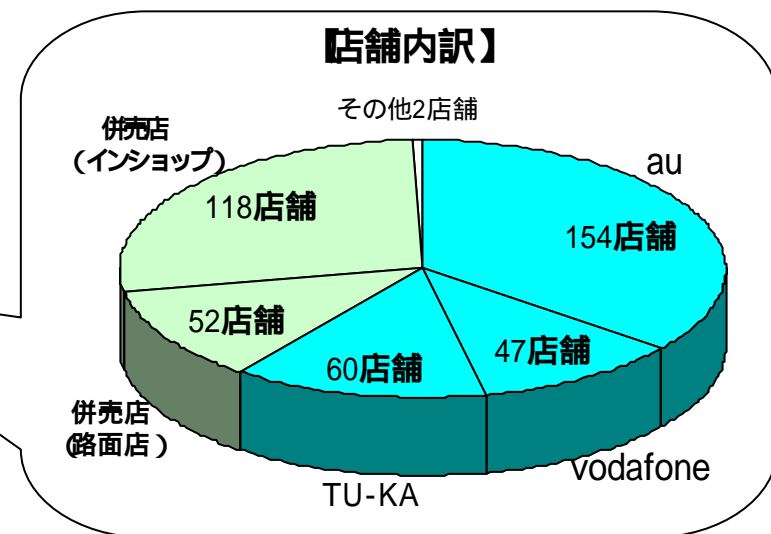


店舗当り販売台数は高水準を維持。

各店舗の採算性を重視。

運営効率の継続的モニタリング

取扱い商材の拡充 (ADSL、カード、コンテンツ等)

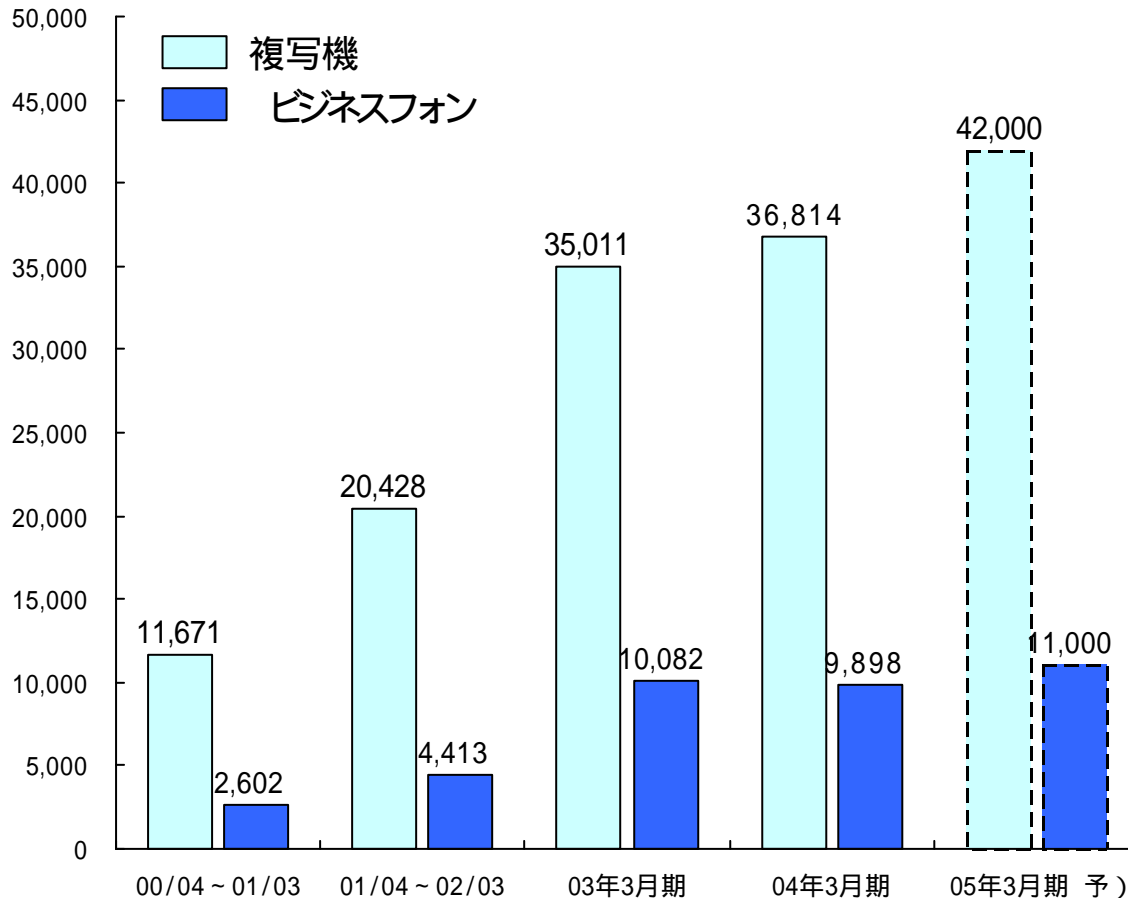


店舗当り月間台数は、3ヶ月間の平均値です。

法人事業：OA機器販売台数

複写機・ビジネスフォンともに、堅調に推移。

【年間販売台数推移】 (台)



2004年3月期の動向：

代理店網を見直し、直販を強化。
台数は微増ながら、収益率大幅改善。

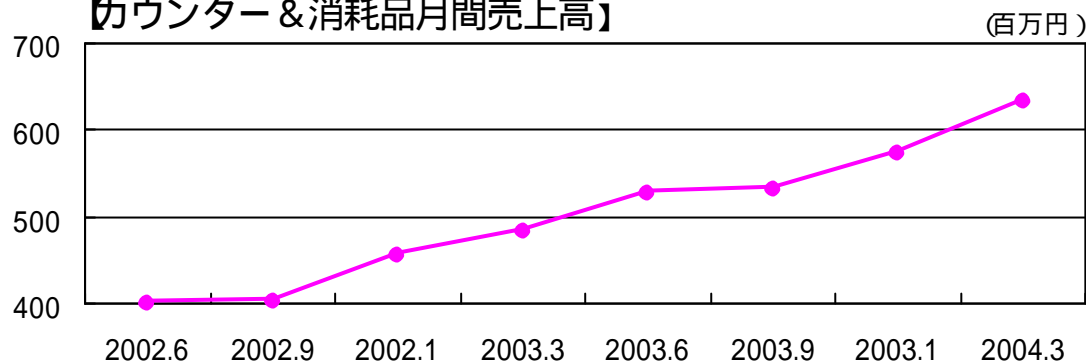
営業拠点の拡充。

秋田、郡山、甲府、松本、柏、水戸、福井、鹿児島など

2005年3月期計画：OA53,000台

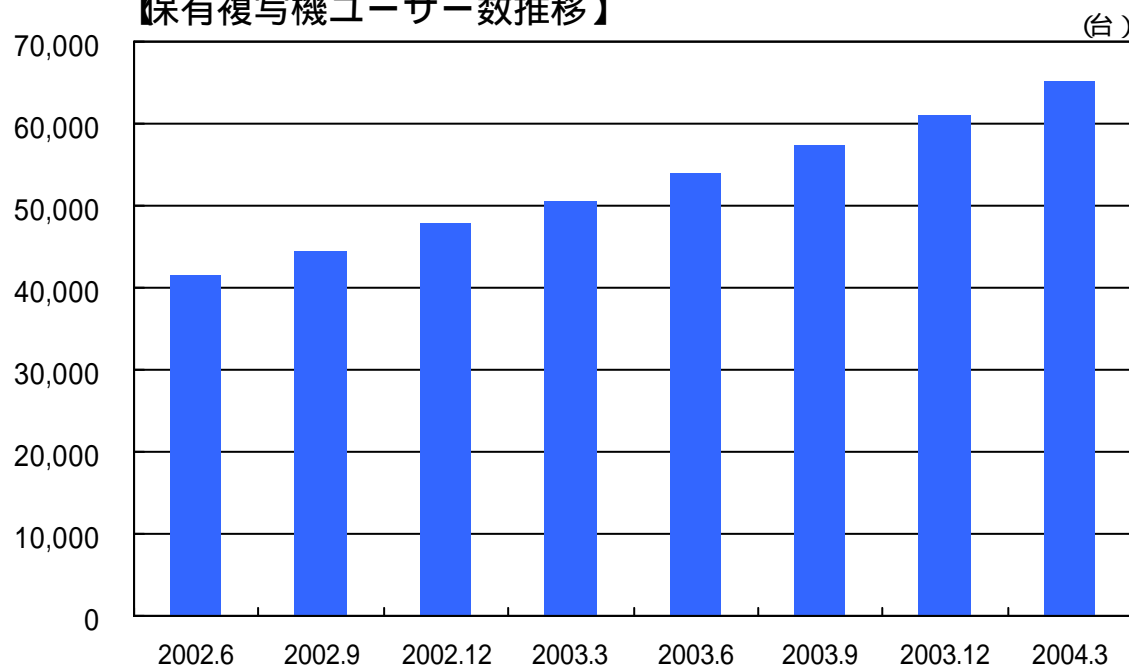
法人事業：複写機カウンター & 消耗品

【カウンター & 消耗品月間売上高】



ストック収入拡大中。

【保有複写機ユーザー数推移】



保有複写機ユーザーの順調な拡大。

保有複写機ユーザーの定義：

販売後もカウンター契約等の継続的取引のあるお客様。

複写機の基本保守サービス体系：

カウンター機の特徴

- ・毎月の使用量 (カウンター数) に応じて保守メンテナンス料金を収受。
- ・消耗品 (紙・トナー) は、基本的に無料。

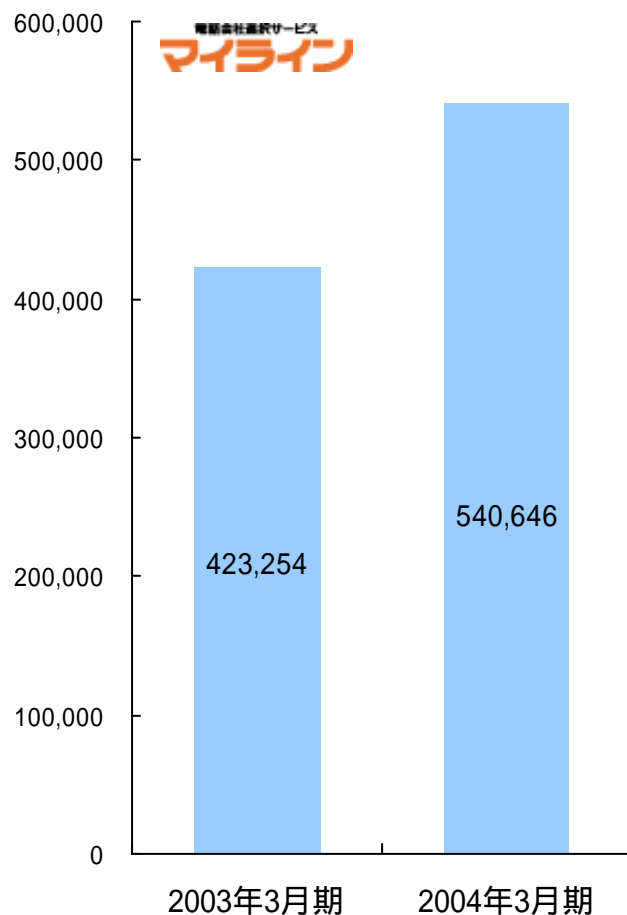
キット機の特徴

- ・導入時に一定の消耗品を含む。
- ・超過分の消耗品、修理メンテナンスは有料。

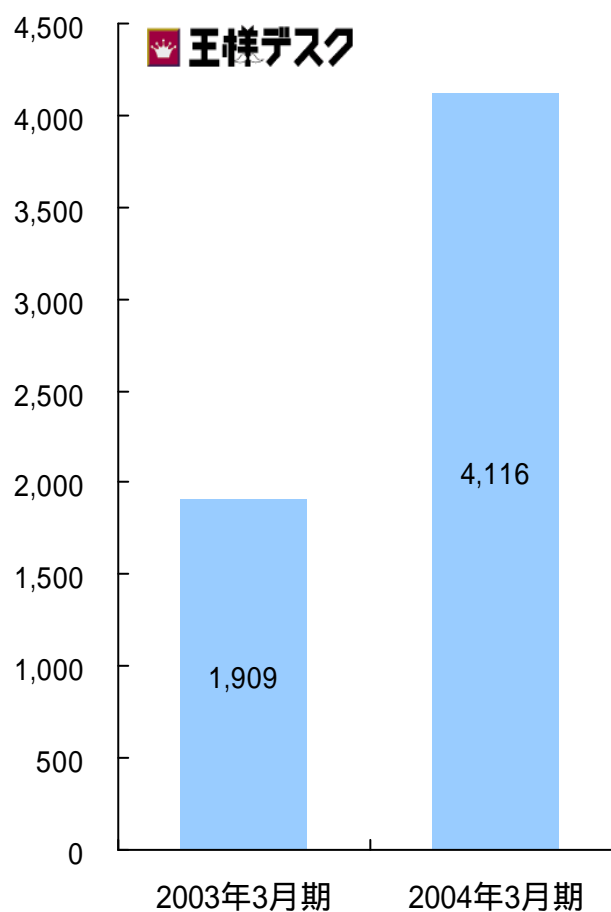
法人事業：その他サービス

既存顧客へのクロス・セリング (他商材の提供) の進展

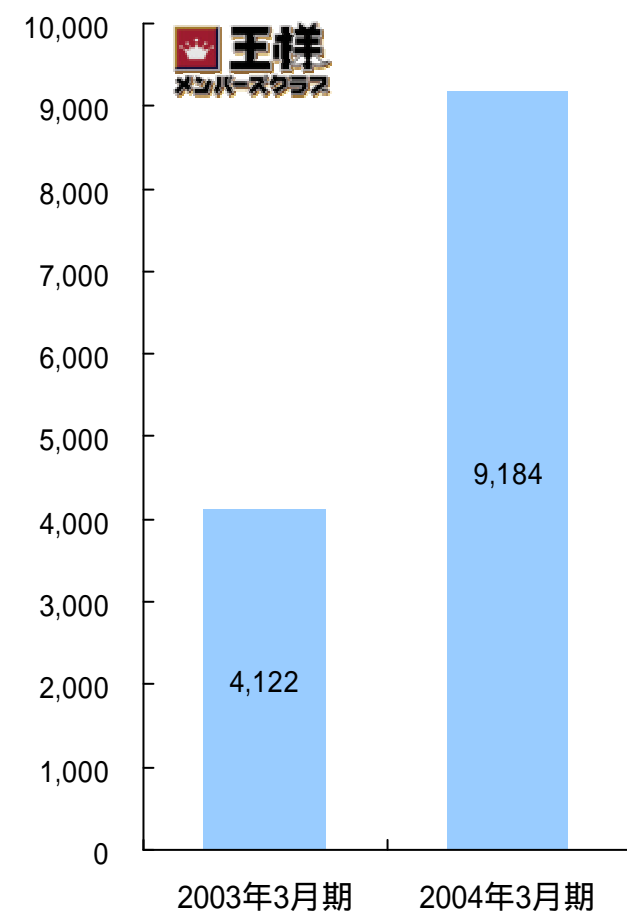
【回線サービス 獲得回線数】
(マイライン 法人向け携帯・ADSL等)



【ネット・PC総合サービス 導入社数】
(ネット環境、PCハード・ソフト、技術サポート)



【法人会員向けサービス 通販 利用社数】
(名刺作成、通販サービス、事務代行等)

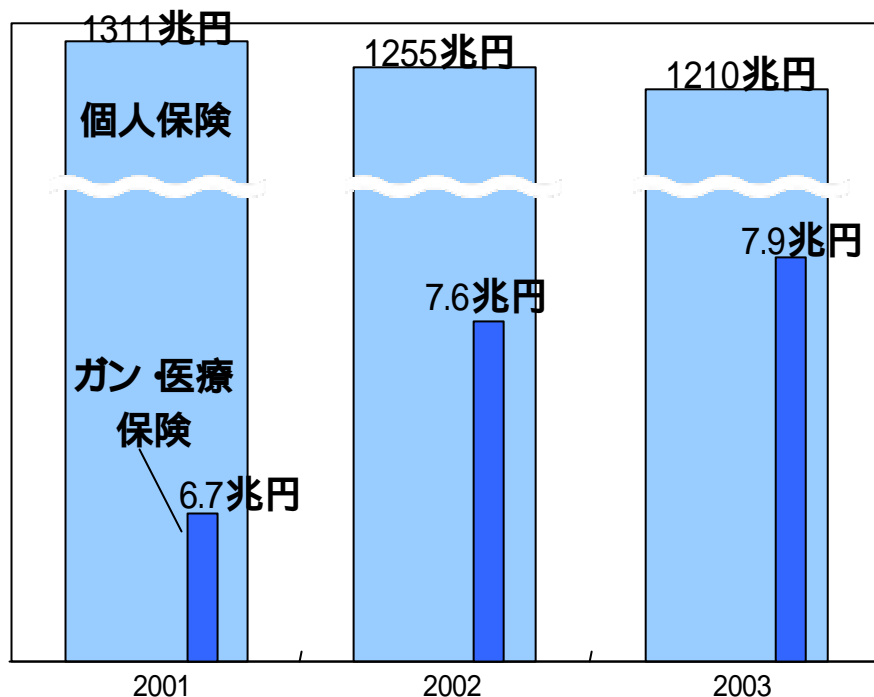


保険事業

第三分野「保険」は、巨大かつ成長市場。

- ・2001年より完全自由化。
- ・がん保険、医療保険、介護保険など
- ・保障保険から「第三分野」へシフト

【国内保険金額の推移】

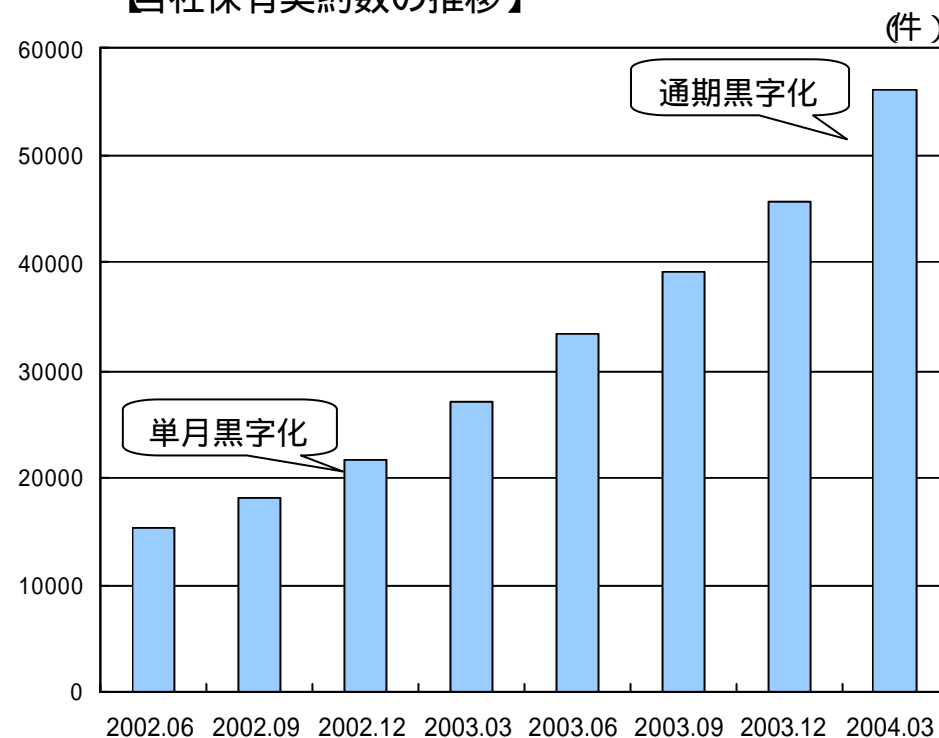


(出所:生命保険協会)

保険事業は、順調に拡大。

- ・代理店としてトップレベルの実績。
- ・独自のテレマーケティングによる販売。
- ・コールセンター 池袋、新宿、沖縄

【当社保有契約数の推移】



業績予想

(百万円)

	2005年3月期予想		2004年3月期 実績
	中間	通期	
売上高	70,000	155,000	145,995
営業利益	7,200	18,000	17,068
経常利益	7,200	18,000	19,628
当期純利益	5,000	11,500	10,626

営業外損益・特別損益に影響を与える投資有価証券の売却損益および時価評価に関する予想は、市場環境や経済情勢等による影響が大きく予想が困難なため、今回の予想数値には反映しておりません。
従来同様、重要な変化が生じた場合、速やかに開示してまいります。

本資料に関するご注意

本資料に記載されている光通信の現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた光通信の経営者の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみにより全面的に依拠することはお控え頂くようお願い致します。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。また、これらの見通しに関しては、光通信の経営者の判断により、変更される可能性がございます。

本資料に関する御問い合わせ：

(株)光通信 財務部IR・広報課 TEL 03-5951-3718 FAX 03-5951-3709

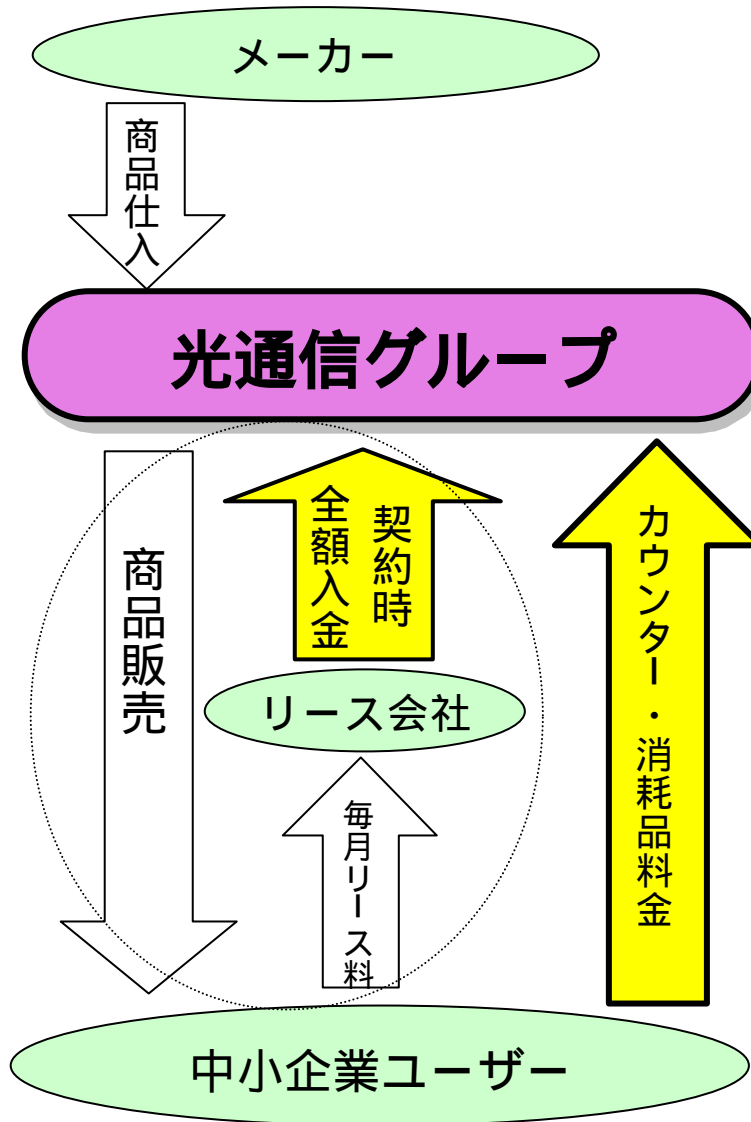
E-mail: info@po.hikari.co.jp

補足資料

複写機販売モデル

低い運営リスク

高いキャッシュフロー効率。



商品販売フロー：
受注ベースの仕入れで
在庫リスク低減。
リース販売で
貸倒れリスク低減。

ストック収入：
設置後、毎月の使用量
に応じた、カウンター
・消耗品料金の入金。

携帯電話販売月次推移

		販売台数合計	新規台数	機種変更台数	保有台数	店舗数
2003年	4月	116,500	60,000	56,500	2,882,600	462
	5月	98,200	49,000	49,200	2,858,300	457
	6月	100,300	48,100	52,200	2,810,100	459
	7月	100,700	47,300	53,400	2,773,200	459
	8月	103,500	45,300	58,200	2,729,200	450
	9月	86,900	41,000	45,900	2,680,100	446
	10月	90,600	39,700	50,900	2,653,500	444
	11月	86,600	37,900	48,700	2,585,600	447
	12月	119,200	52,900	66,300	2,562,000	442
2004年	1月	93,000	39,600	53,400	2,533,800	437
	2月	84,800	36,700	48,100	2,489,400	435
	3月	130,600	72,300	58,300	2,462,000	433

全国営業所 & SHOP

【営業所・コールセンター】

2004年3月末現在
 コールセンター 9ヶ所
 営業所 38ヶ所

関東地区営業所

池袋(4)、新川、立川、千葉、柏
 藤沢、横浜、埼玉、小山、水戸

関東地区コールセンター

池袋(2)、渋谷、新宿、横浜

名古屋(2)

大阪(2)

沖縄(2)

【SHOP】

2004年3月末現在
 433店舗

(単位:店)

北海道地区

9

東北地区

31

関西地区

108

北陸地区

4

中国地区

26

東海地区

39

関東地区

115

九州地区

50

四国地区

40

沖縄地区

11